Call 公募	HORIZON-CL3-2026-01-BM-03
Project	**Reliability of age assessment methods in the context of security and border management** HORIZON-CL3-2026-01-BM-03
Topic description トピックの説明	期待される成果： 本プロジェクトの成果は、以下の期待される成果の**一部またはすべて**に寄与することが期待される： ● 未成年者の保護の強化。これには、より信頼性の高い年齢判定の実施や、プライバシーを侵害する年齢判定手法の使用を最小限に抑えることなどが含まれる。 ● 人身取引との闘いにおける当局の対応能力、備え、および協力体制の向上； ● 欧州を拠点とした、年齢判定手法の信頼性、正確性、有効性に関する知見が拡大した。 スコープ： EU の外部国境に到着し、難民認定を申請する多くの保護者のいない子どもや若者は、身元や年齢を証明する公的書類を持っていない。年齢判定方法は、例えば、その個人が最初にどこに収容されるか、また保護（および該当する場合は児童保護）を確保するためにどのようなサービス、支援、法的手続きを受けるかなどを決定する上で重要な役割を果たすため、重要である。また、EU の外部国境を越えて、あるいは EU 域内で、未成年者が人身取引（THB）という犯罪行為の被害に遭うケースもある。さらに、児童保護に関する法執行機関の捜査、科学捜査、および／または被害者の特定を行うためには、年齢判定手法が必要となる場合もある。 いかなる年齢判定法も、100％の信頼性を保証することはできない。手法によって感度や特異度が異なり、サンプルサイズや代表性も異なる。また、一部の手法は欧州以外の知識基盤に基づいている。さらに、年齢評価の方法にはかなりのばらつきがある。その方法には、面接、心理評価、その他の総合的なアプローチといった多様な手法や、X 線、CT スキャン、DNA メチル化、歯科的観察、その他の分析といった医学的アプローチ、画像解析などのその他のアプローチが含まれ、データ分析に人工知能（AI）を活用する場合もあれば、活用しない場合もある。 EU の規制、および欧州連合庇護機関（EUAA）によるガイドライン[[EASO「EU+諸国における年齢判定の実務：最新調査結果（europa.eu） https://euaa.europa.eu/sites/default/files/EASO_Age_assessment_practices_updated.pdf[]] には、侵襲性の最も低い方法を採用すべきであることや、医学的手法は最終手段としてのみ用いるべきであることなど、保護措置や推奨事項が含まれている。また、欧州移民ネットワーク[1]や、イノベーションを推進する欧州の治安実務者ネットワーク、さらには各国レベルにおいても、さらなる研究、報告書、文書が作成されている。本テーマの助成対象となる活動においては、これらに加え、他の関連する EU 枠組みプログラムのプロジェクトによる研究を含む（ただしこれらに限定されない）過去の研究も考慮すべきである。 本調整・支援活動においては、年齢判定の方法や技術を開発してはならない。むしろ、実務家らとも連携しつつ、年齢判定の現行および将来的な手法について分析を行う。その際、さまざまな手法の科学的信頼性、感度、特異度を評価・比較するとともに、基本的人権に対する潜在的なリスクや、それらを最小限に抑える方法についても検討すべきである。 この研究結果は、年齢判定手法に関する立法上または政策上の決定を直接示唆するものではないが、本研究を通じて、基本的人権を保護し、多様なニーズに対応する包括的なアプローチの採用を確実にする、現行の最先端手法と比較してより適切な年齢判定モデルの選択肢について、エビデンスに基づいた知見を導き出すものである。本テーマの助成を受けた研究成果は、EU の「子どもの権利に関する戦略」[2]の原則に従い、移住、安全保障、国境管理などの場面において、子どもや未成年者をより的確に特定するための能力向上に寄与するものである。また、欧州各当局間の実践事例の交換にも寄与するものである。 「犯罪やテロから EU とその市民をよりよく守る」や「欧州のための災害に強い社会」といった『ホライズン・ヨーロッパ』クラスター3 の他の重点分野、ならびに『ホライズン・ヨーロッ

	パ』クラスター2「包摂的な社会」の重点分野との相乗効果。 [1] https://ec.europa.eu/home-affairs/networks/european-migration-network-emn_en [2] COM(2021) 142 final.